

日本の学術雑誌による海外情報発信力強化 Enhancement of scientific information transmission to overseas countries by Japanese international scientific journals

林 和弘^{1*}

Kazuhiro Hayashi^{1*}

¹ 文部科学省科学技術政策研究所

¹ NISTEP, MEXT

日本の学術出版と、電子ジャーナルに関連する世界のトピックスを概観し、日本発の学術情報発信の意義を再確認しつつ、その可能性と難しさについて考察する。また、国内外の研究助成団体および、関連組織の動向から、科学者は公的資金による研究開発投資に対する社会説明の必要性が高まっていることを認識する必要があることを。

その上で、Altmetrics とオープンアクセスが、被引用数に代表されるこれまでとは違った研究論文の新しいインパクトの測定を可能とする点に注目したい。新しい評価手法が生まれる可能性が出たことによって、当事者である科学者自身によって、研究成果の発信がどう変わりうるか、また、その評価はどのように行われることが適切かを考え、改めてジャーナルのあり方に役立てることができる。

キーワード: 学術情報流通, 学会, オープンアクセス, altmetrics, 研究のインパクト測定

Keywords: scholarly publishing, learned-societies, open access, altmetrics, measuring impact of researches